



病院の理念

私たちが職員は、生命を尊び、病院の理念を実践するとともに、患者さんの権利を尊重し、お互い協力し合い、信頼される医療を提供します。

私たちの病院は、「思いやりの心」を大切にし、発症急性期より専門的治療の実践を目指します。

常に前向きに研鑽を深め、患者さんや家族の方が満足できる、安全で良質かつ高度な「チーム医療」を提供します。

地域の医療機関との「連携」を密にし、地域医療の向上に貢献します。

HAKODATE NEUROSURGICAL HOSPITAL

hnh 函館脳神経外科病院

Kitchen Car

キッチンカー

『ご存じですか？』

月に一度、当院駐車スペースに、いろいろなお店のキッチンカーをお呼びしています。

職員や患者さんだけでなく、近隣のかたもご利用されています。「新鮮！」「次は？」と、楽しみにしていますよ☆



患者さんの権利

- 誰もが良質で最善の医療を受ける権利
- プライバシーを尊重され、診療についての情報を得る権利
- 選択と同意に基づく医療を受ける権利

患者さんの責務

- 医療提供者に対し、患者さん自身の健康に関する情報を提供してください。
- 治療を受ける上で、理解出来ないことがあれば質問してください。
- 病院職員の医療提供がスムーズにおこなえるよう協力してください。



- ① 両手を前へならえ、左右差の確認
- ② 両眼をよく見て片側を凝視しているか
- ③ メガネや腕時計を見せて「これなあに」
- ④ 指を4本見せて「これ何本？」

ひとつでも異常があれば

保存版

0138-53-6111

血栓回収可能施設へ優先搬送 or 119 通報

休日・深夜は問わず、急ぐこと

お問い合わせ

0138-53-6111
体調が悪いときはすぐにご一報ください

病院公式サイト
リクルートサイト

http://hnh.or.jp
http://r.hnh.or.jp



病院公式サイト

鼓翼

鼓翼(こよく)と書いて「はばたき」。勢いのある、気の漲った鳳の羽の一打ちのような生命のきらめきを、すべてのひとが享受できますよう思いを込めて。

2024 vol. 66 ^{★2.0}

HABATAKI
Hakodate NeuroSurgical Hospital Journal
広報誌はばたき

「小惑星地球衝突最終警報システム」の頭文字ですが、人体の骨にもあるんですよ。そう！言わずと知れた「第一頸椎」。こちらは神話のなかで地球を支えるアトラス神が由来ですね。我らが地球を護る望遠鏡と地球を支える神、そして頭部を支える

秋の夜長は、天を——
脳脊髄を守る骨の呼称が同じ。

この秋のスペンシャル、紫金山アトラス彗星はご覧になりましたか？





日本脳神経外科学会北海道支部会主催

市民公開講座 in Hakodate

2024 5/18

☆無事終了☆ 当日は134名の皆さまにお集まりいただきました。

このたびの市民公開講座は、当院だけでなく札幌中村記念病院からも、頼れる豪華な先生陣で構成された企画でした。ご来函いただいた大里副院長の、びっくりするほど陽気な声と魅力的な笑顔で幕が開き、活気あるご挨拶に会場は惹き込まれ、全体が一瞬でホットになったスタート。

会場にお越しいただいたみなさんは、ご本人またはご家族に、心配な症状のあるかたが少なくないと思われます。「相談すべき?」「これは危険なの?」「どうなるの?」「手術は怖い?」などと次つき降りかかる不安を少しでも解消できるよう、リアルな脳神経外科の今と、そして安心と希望と役立つ知識が提供できる明るい講演を、全員で目指しました。

今日の4つのお話は、アラうちのお爺ちゃん大丈夫? お前こそ大丈夫かよ? って家族でチェックし合えるよう、有意義にお持ち帰りができる内容です!

歩きにくい? 物忘れ? イライラ? 間に合わない? 年のせい? せいか? せいか?

超高齢社会の脳神経外科

超高齢社会を **幸せに** 生き抜くために



脳の病変では、年齢的に手術が難しいという残念なケースも少なくなりましたが、それは過去の話。画期的な技術進歩で年齢にも心身にもやさしい治療ができるんです

患者さんやご家族が「知ることは「より良く治せる可能性」を格段に強めます。知って、脳神経外科を活用してください

脳神経外科ってアタマだけじゃなくて「顔から足の先まで全身担当」ってことなんです

当たり前前の生活に支障を来す顔面の激痛。歯科や耳鼻科と勘違い? じつはそれ、脳神経外科に直行です。

挨拶 社会医療法人医仁会 理事長・院長 中村 博彦 先生
中村記念病院 副院長 大里 俊明 先生

- 1 高齢者にやさしい脳神経外科治療**
山崎 貴明 医師 (函館脳神経外科病院 副院長)
- 2 手術で良くなる正常圧水頭症について**
石田 裕樹 医師 (中村記念病院 脳神経外科医長)
- 3 「三叉神経痛」と「顔面けいれん」**
野呂 秀策 医師 (中村記念病院 脳神経外科部長)
- 4 上手な脳神経外科の使い方**
妹尾 誠 医師 (函館脳神経外科病院 院長)

会場の皆さまからは大変好評のアンケート結果をいただき、一同心より感謝申し上げます。進化する医療とともに邁進し、また次回も、さらに磨きのかかった安心を地域の皆さまご家族へとお届けしたい所存です。どうか笑顔の人生を!



令和6度新採用者研修が4月1日から、医療部 & 事務部は2日間、看護部は5日間の日程で、当院多目的ホールにて行われました。

看護師10名、理学療法士3名、作業療法士5名、言語聴覚士1名、社会福祉士1名、事務職員4名が当院の仲間入りとなりました。コロナが5類に移行したため中止していた実技指導や演習を再開、心肺蘇生体験では真剣な表情で指導を受け、いざ実践してみると、力の入れ具合と、圧迫の深さ、スピードのコツがなかなかつかめず、繰り返し挑戦しヘトヘトになっている姿が新鮮に映りました。

\\ 理念に向かって力を合わせ、一緒に頑張りましょう! /

院内教育委員会

新職員 training days 研修



お腹の太い血管(腹部大動脈)に《こぶ》ができる病気

Abdominal Aortic Aneurysm **腹部大動脈瘤** をご存知ですか?

横隔膜(みぞおちあたり)から臍のあたりを走る腹部の動脈において発生します。こぶ(腹部大動脈瘤)の部分は血管壁の弾性が失われ、弱く脆くなっており、こぶが大きくなると破裂しやすくなります。自然に治ることは難しく、放っておくと破裂の危険性があります。

※破裂後の死亡率は約7割といわれています

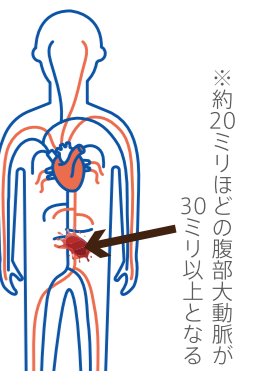
破裂すると?

多くの方は、搬送が間に合わず手術に至ることなく亡くなるケースも多く、日本では毎年、約3,000人のかたが腹部大動脈瘤の破裂によって亡くなっているといわれています。腹部大動脈瘤は破裂してしまうと生命に関わる病気ですが自覚症状がほとんどないまま進行し、他の病気が疑われた際の検査・健診や人間ドックなどで偶然見つかることも少なくありません。

なりやすいのは?

- 65歳以上男性
- 高血圧
- 喫煙歴
- 家族歴※

※家族歴：第一度近親者(両親/兄弟姉妹)が腹部大動脈瘤と診断されたことがあるか。



※約20ミリほどの腹部大動脈が30ミリ以上となる

... 腹部大動脈瘤の発見には 腹部エコー検査 が有用です

どんな検査?

腹部超音波検査として腹部エコー検査が推奨されています。受けられるかたの動作は『吸って/吐いて』の深呼吸と、必要に応じて体の向きを変えることのみで、痛みがなく放射線も用いないため被曝の心配もありません。いずれかに当てはまるかたは、いちどはこの検査を受けることが推奨されています。



おしいて！
トクター！

みはれつ のうどうみやく りゅう
未破裂脳動脈瘤
に対する

フローダイバーター治療

Flow Diverter = 頭蓋内動脈ステント

『脳動脈瘤の破裂は、
致命的なくも膜下出血を来たします』

特に最大径が 10mm を越える大型脳動脈瘤の破裂率は高いことが知られています。また稀に、近位内頸動脈でも出血し、脳動脈瘤が大きくなると破裂しなくても周囲の脳や神経への圧迫により神経症状を来たすることがあるため、しばしば治療を必要とします。

大型の大動脈瘤では難しかった従来の手術

脳動脈瘤の破裂や増大を防ぐための手術は、【開頭クリッピング手術】や【血管内コイル塞栓術】が行われていますが、大型動脈瘤や紡錘状動脈瘤ではそのような治療が困難であり、血管ごと閉塞せざるを得ないことが多くありました。血管内治療では、コイル塞栓術や従来のステントを併用したコイル塞栓では再発率が高く、また開頭術でもバイパス術を併用したり、血管の閉塞、頭蓋底の骨削除を必要としたりと侵襲や難易度の高い治療が必要となっています。

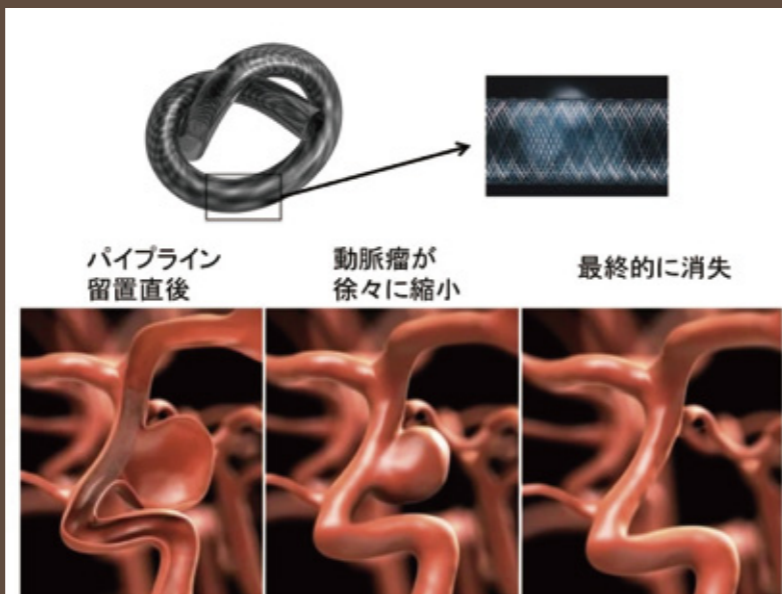
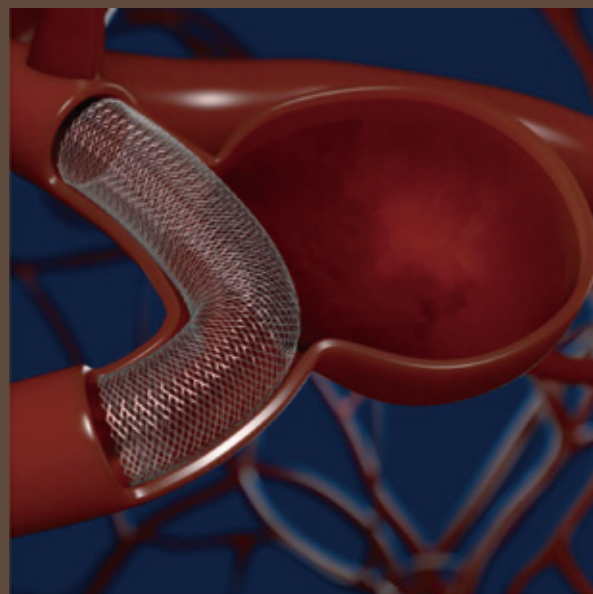
これら従来の治療法では、「理想的な根治的治療が困難」と考えられる
大きな脳動脈瘤を対象として画期的なステントが開発され、本邦での治療も開始されました。

\\ フローダイバーターステント治療 ///

従来の血管内治療との違いは？

- ☑️ コイルなどの塞栓物質を充填しない
- ☑️ 動脈瘤に流入する血行を制御する
- ☑️ 動脈瘤の破裂や増大を防ぐ

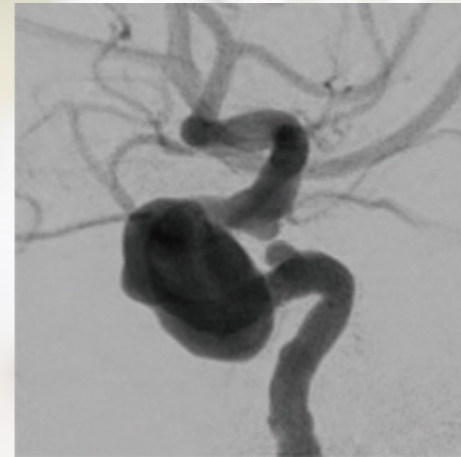
血管を温存する
ことができる



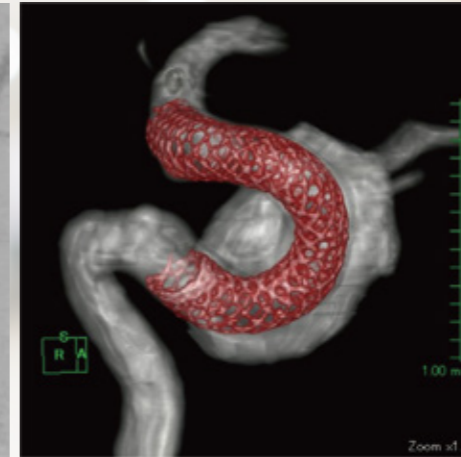
治療方法

- ① 動脈瘤内にカテーテル誘導
- ② 目の細かいステント※を血管に留置
- ③ 動脈瘤内の血流が停滞し、徐々に血栓化される
- ④ フローダイバーター内に新たな血管内皮細胞が張ることで血管が修復される

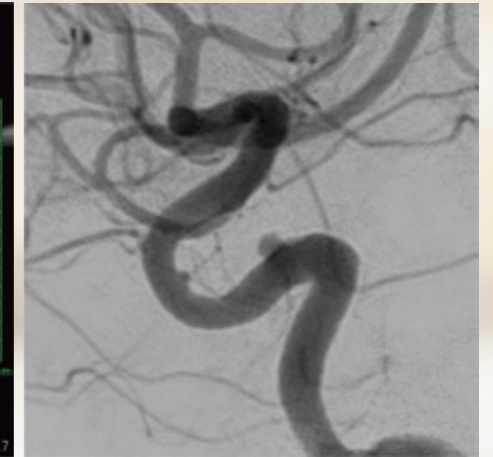
※パイプラインステントは、2020年頃から内頸動脈瘤および椎骨動脈瘤が対象となり、最大瘤径は5mm以上に適応となっています。従来のコイル塞栓術が困難な部位への適応が拡大されています。



治療前



治療直後



治療一年後

治療のながれ

- 1 | 治療 10 日以上前を目安に抗血小板薬(血液をサラサラにする薬剤)の投与の開始をいたします。血小板凝集能を術前に測定し、十分な抗血栓効果を確保していることを確認します。
- 2 | 治療は全身麻酔下で施行しますが全身状態によっては局所麻酔で施行することもあります。
- 3 | 大腿動脈(太もものつけね)もしくは橈骨動脈(手首)からカテーテルを挿入します。動脈瘤を十分にカバーするようにフローダイバーターを留置展開し必要に応じてバルーンで密着させます。
- 4 | カバーが不十分である場合や動脈瘤内への強い血流が残存する場合などでは、フローダイバーターの複数留置を行います。また必要に応じて瘤内へのコイル留置の併用を行います。
- 5 | 穿刺部の止血を行い、術後数時間の安静とし、術後 4 ~ 5 日で退院となります。
- 6 | 外来にて経過観察。留置後は数ヶ月で動脈瘤が血栓化~閉塞し、治癒へと向かいます。

当院は東北北海道エリアにおいてトップクラスの豊富な治療経験を有しており良好な成績を収めております。未破裂脳動脈瘤と診断されたことがあるかたは、山崎副院長へのメール相談も受け付けております。

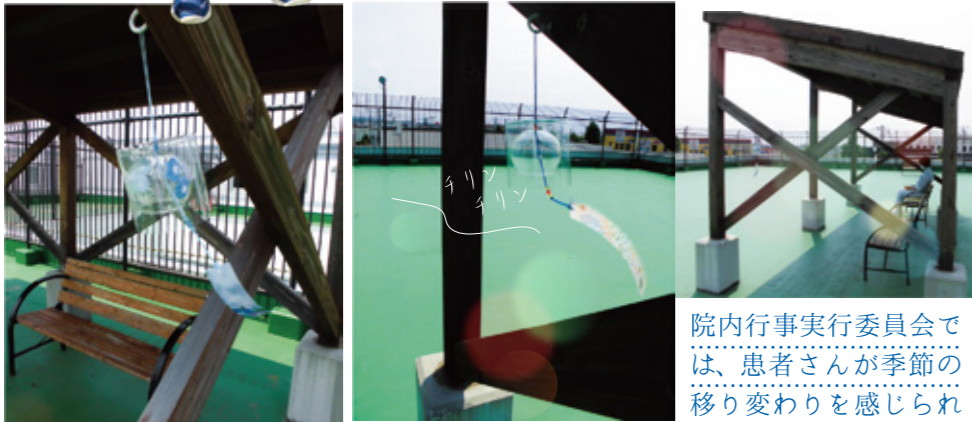
✉️ hnh soudan@mail.hnh.or.jp

晴れたら ルーフガーデンへ Rooftop Garden for everybody



靴を履いたかかしが見守る横で

カボチャ、ズッキーニが実を付け生育は良好。「カボチャがなってる!これからが楽しみだね」と成長をねがって、患者様と一緒に水やりをしています。観察しながら「成長した頃には、私も退院しているかな?」と患者さんの日頃の想いをうかがい知ることが出来たのも、印象的でした。



ルーフガーデンに**風鈴**を設置しました。



院内行事実行委員会では、患者さんが季節の移り変わりを感じられるよう今年からルーフガーデンの東屋に風鈴を設置しました。

屋上は風通しも良く、「チリンチリン」と心地よい音色を聴きながら外の景色や園芸の植物を眺めたり、読書を楽しむ患者さんの姿も。

みなさんに少しでも風情を感じていただけたら、行事委員として嬉しく思います。

-院内行事実行委員-
齊藤



Rooftop Garden for everybody

院内行事委員会とは?

年間を通して院内において季節ごとのさまざまなイベントや活動を計画し開催する委員会です。端午の節句・看護週間・七夕・十五夜・ハロウィーン・クリスマス・お正月・桃の節句 etc... 院内で過ごす患者さんやご家族のかたも、わたしたち職員もいっしょに季節を楽しむ機会となりますように。

家族の面会



1病棟看護主任 路奥 未来

函館脳神経外科病院 3 F 言語療法室前から、ルーフガーデンに出られるのをご存知ですか?ここでは院内行事委員会の職員たちがいろいろな園芸にトライし、患者さんやご家族のみなさんとともに花や野菜などを愉しみ、日向ぼっこもできる広いスペースとなっているんですよ。雪のない季節なら、ぜひ訪れてみていただきたいです。



-院内行事実行委員-
介護福祉士
佐々木 蓮
藪 里子

International Nurses Day

5/12 は、近代看護教育の母フローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。この日に因んで看護の心、ケアの心、助け合いの心を育むきっかけになるように「看護の日」が制定されました。当院でもこの日に毎年イベントを実施し、看護のPRを行うと共に自分自身を振り返る大切な日となっています。今まで以上に医療や看護が必要とされている今、「看護」について考えさせられる、とても良い機会となっています。



男性看護師汗だくでしたが、患者さんの喜ぶ顔に大満足! 石O/P/Ns, お疲れ様でした。

当院キャラクター「キキミミウナギ」がお出迎え!



1965年から、国際看護師協会(本部:ジュネーブ)は、この日を「国際看護師の日」に定めています。21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により、「看護の日」が1990年に制定されました。



「看護の心をみんなの心に」

看護職を地域の人々に知ってもらおう企画

2024/5/14 (火) 9:30-15:30
@外来ロビー / いこいの広場 (一部)

☆各病棟紹介 ☆看護川柳 ☆白衣展示 ☆自助具展示
☆健康相談 ☆アロママッサージ ☆物づくり体験

ハンドマッサージや物作りを体験して下さった患者さんからは「1日だけじゃなくて何日か続けて欲しいなあ...」「前もって教えてくれればいいのに...」という声をいただきました。地域の皆さんとふれあい、嬉しい声をいただいて実行委員一同にも笑顔が生まれました。

看護の日 実行委員会

いつも明るいこの女性も診察室で涙したことがある。数年前実母が病に倒れた時である。彼女は迷わず自宅での介護を選択。普通の母娘以上の強い絆があるのだろう。当初は元気で外に来ていたが、やはり疲れが頂点に達した。健康な人でも大変なのだから無理からぬことである。幸い周囲の人々の理解と適切な対応で何とか切り抜け、徐々に元の笑顔が戻った。

この日は中学が休みなのか下の娘さんといっしょ。この娘さんとは生まれ変わった時からの顔なじみ。赤ちゃんの時は看護師があやしなながら診察。歩けるようになるまでと診察室の丸椅子をいれずらしていた。その頃は私を見る度に大泣きしていた。私の顔が恐ろしいのか白衣のせいなのか。物心つく頃になつてやつと近寄ってくるようになる。ゲーム機を見せびらかし、可愛いことに帰りしな「ハイチュー」1個を手渡ししてくれたものである。味は忘れたが、あの時のことを思い返すとにやけてしまう。

今日最初の患者様は50歳をわずかに超えた女性。15年前から脳外科と一緒に循環器管理をしている。明るく表情豊か。ただし肥満である。子供の頃から手足が不自由なもの、二人の娘さんがいる。最近ではご主人も外来にかかっている。

Dr. 細田の
ちょっと失礼!
ハイチュー

